

～第12回特別企画展～

—「ハイミス」へのまなざし—

開催中

～11月24日(土)まで / 田辺聖子文学館

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館では、第12回特別企画展『「ハイミス」へのまなざし』を11月24日(土)まで開催しています。

田辺聖子の「ハイミスもの」の先駆けといわれる「猫も杓子も」の雑誌連載が始まったのは、1968年12月でした。それ以降、田辺聖子は、20代後半から30代のはたらく未婚女性を主人公とする恋愛小説を次々と世に送り出し、自身の作品のなかに、「ハイミスもの」と呼ばれるジャンルをつくりました。女性の平均初婚年齢が20代前半だった時代。田辺聖子があがいた「ハイミス」のヒロインたちは、それぞれに悩みを抱えながらも、自分の進む道を自分で決め、仕事に真面目に取り組み、恋愛を楽しむ、魅力的な女性たちでした。田辺聖子の「ハイミスもの」の誕生から半世紀を越えた今、より身近な存在となった「ハイミスもの」のかずかずを紹介します。

【開催概要】 2018年10月27日(土)～11月24日(土) / 9:00～16:30

休館日： 日曜・祝日・大学の休業日 入場料： 無料

お問合せ： 大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館 東大阪市菱屋西4-2-26 (大学図書館内)

TEL： 06-6723-8182 HP： <http://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp>**【展示資料】 47点** (ほか常設展示あり)「言い寄る」(田辺聖子)
直筆原稿・初出誌「私の『出張結婚』」(田辺聖子)
直筆原稿 掲載誌

(以下、田辺聖子)

「言い寄る」直筆原稿・初出誌、「猫も杓子も」連載第1回掲載誌

「雪の降るまで」直筆原稿、「愛してよろしいですか？」取材スケッチブック ほか

【講演会】 11月10日(土・祝) 13:00～15:00 定員40名 / 図書館3階 393教室

『「ハイミス」の時代と田辺聖子』 住友 元美(学芸員)

『田辺聖子「雪の降るまで」の翻訳とメタファー(仮)』

小森道彦(国際英語学科教授)、Jennifer Rose Smith(国際英語学科専任講師)

11/10

(土・祝)

※要申込

ほか関連イベントを多数ご用意しています。詳しくは添付のチラシをご覧ください。

<本リリースに関するお問合せ先>

学校法人樟蔭学園 総務部学園広報課 (担当：宮田)

TEL:06-6723-8152 (直通) E-mail: gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp